

次期学習指導要領

来年のことをいうと鬼も笑うが、高校で本格実施した学習指導要領の次を言及すると何が笑うか・・・。

PDCA サイクルでいうなら、現在の学習指導要領の成果等を評価し、計画を立てることになるだろうが、そんなのんびりすることにはいかないだろう。

すでに議論がはじまっている。

「教育課程の編成に関する基礎的研究」

国立教育政策研究所（2009 年度～）

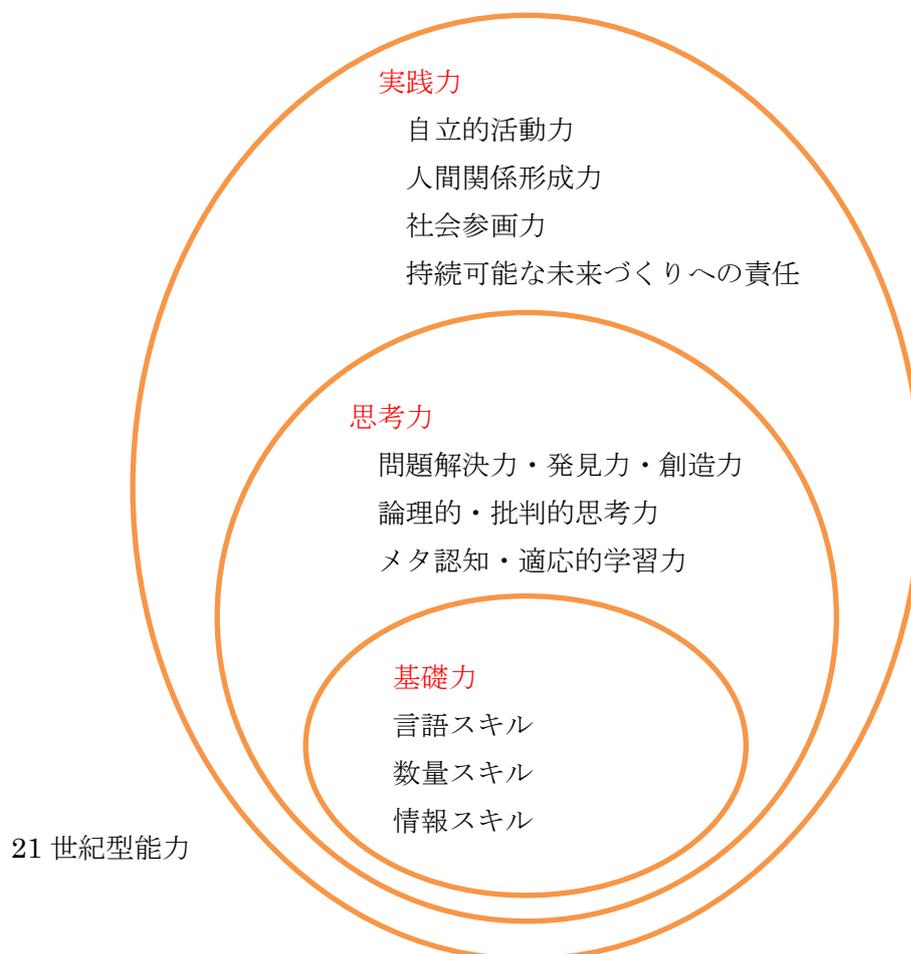
「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会」

文科省（2013 年 12 月）

「社会の変化に対応する資質や能力を育成する教育課程編成の基本原則」

国立教育政策研究所（2013 年 6 月）

方向性として、「資質・能力」がキーになり、試案として「21 世紀型能力」が示された。



現学習指導要領においても、「習得・活用・探究」や「言語活動」により教科をこえた授業改善を目指している。

現在のような教科を中心に据えて授業を行うことから、
「育成すべき資質・能力を明確にした上で、それを育成する手だてとして教育目標と内容を定め、かつ指導と評価を一体的に捉えられるようにする」方向を示している。

で、今、我々は何をする必要があるかというところ、
・学校教育のどこで、どのように中で、「習得・活用・探究」させ「言語活動」を行うことで現学習指導要領が示している思考力・判断力・表現力が身につくのかを考え、実践することが大切であろう。

学校全体（職員全体）で、カリキュラムマネジメントする絶好のチャンスでもある。

1から創るのではなく、どのようにデザインするか、アレンジするかであろう。
遊び心で独自の教科を考えてみるのもおもしろいかも・・・。
また「忙しくなる」と思わず、子どもたち資質を身につける「学校づくりを楽しもう」ではありませんか。

（ちょっと書きすぎたかな・・・）